



11月6日(水)、幸町キャンパスにおいて、香川県立盲学校の先生を講師としてお招きし、「ガイドヘルプ講習会」を開催しました。これは、学生及び教職員のバリアフリーに関する意識向上と障害者支援に関する知識・スキル向上を目的として開催したものです。講習会では、視覚障害への理解についての講義及び手引き歩行のペアワーク等の実技実習を行い、具体的に分かりやすくご指導いただきました。

(北3号館1階 311教室 参加者：15名)

▶ 当日の講習会内容

第1部 【講義】視覚障害への理解について (佐々木 光毅 教諭)

- ・人は情報の8割を視覚から得ているため、視覚に障害があることは、情報障害といえる。正確な情報が知りたい。
- ・香川県には、約3,700人の視覚障害者がいる。
- ・視覚障害には、「盲」と「弱視」の区分があり、7～8割の人が、「弱視」と言われる見えにくい人たちである。



第2部 【実技】ガイドヘルプの実際 (手引き歩行のペアワーク等)

(堀 雅之 教諭、吉田 満 教諭、南 茂樹 寄宿舍指導員、土橋 康樹 実習助手)

- 場所や物を置いている位置がすぐにわからないので、具体的な言葉で伝えることが大事!
- 安全で正しい誘導法をマスターし、ガイドする人が半歩前に立ち、肘等に触れてもらい歩きます!



▶ 当日の感想・アンケート目より

- ・講義だけでなく、実習があることで、わかりやすかった。
- ・直前の声掛けの必要性など、視覚障害者とのかかわり方を体験できた。
- ・今後、視覚障害者に対して支援を申し出ることができると思う。
- ・視覚障害者の基本的状況や、誘導法の基本について知ることができた。
- ・視覚障害者の方とかかわるときは、直前に具体的に言うことが安心感につながるということがわかりました。

Q: 講習会への参加について

A:

良かった
100%



◆ 連絡先 ◆

バリアフリー支援室

電話：(087) 832-1399 FAX：(087) 832-1390

メール：bf-support@ao.kagawa-u.ac.jp

